

週間漁海況情報 2025年第41号

令和7年10月14日発行

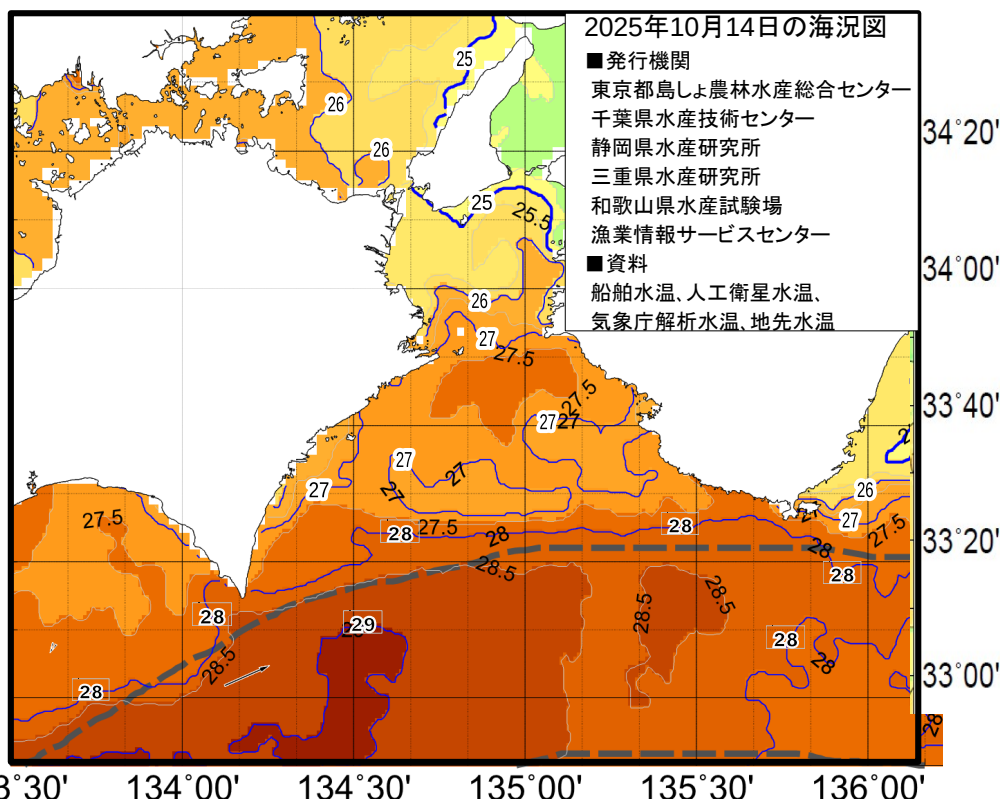
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖15マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で25～26、紀伊水道で25～26、海部沿岸で26～27℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

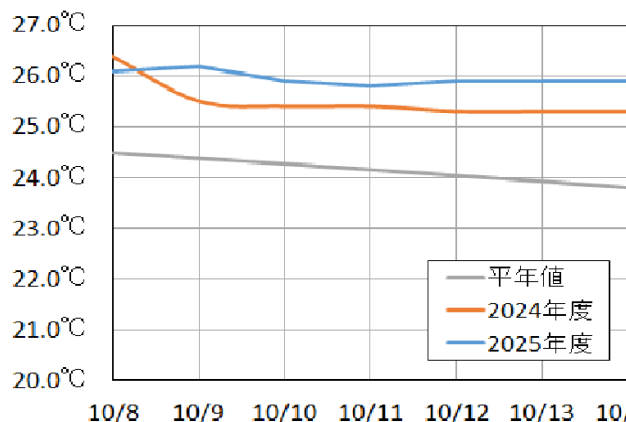
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(10月8日～10月14日 浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。)

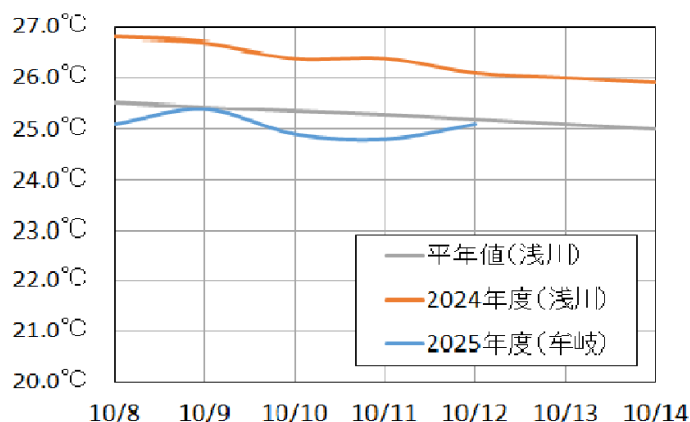
鳴門地区の水温は、26.2～25.8℃で「高め」で推移。牟岐地区は、25.4～24.8℃。

鳴門と牟岐地区の水温差は、-0.8～-1.0℃だった。

鳴門地区



牟岐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月15日～10月21日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (10月6日～10月12日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく減って37.1トン水揚げされた。
 釣りでは、サワラが大きく増えて特大主体に0.3トン水揚げされた。
 延縄では、サワラが2.9トン、あまだい類が0.6トン水揚げされた。
 底びき網では、ハモが減って中主体に0.8トン、えそ類が大きく減って0.6トン、
 クマエビが0.5トン、かます類が増えて0.5トン、いとより類が減って0.3トン水揚げされた。
 建網では、カワハギが大きく減って大主体に0.2トン水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが大きく減って豆あじ級主体に0.7トン、
 マルアジが大きく減って小主体に0.5トン、カンパチが増えて0.4トン、
 アイゴが大きく増えて0.4トン、マダイが大きく増えて小小主体に0.2トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

漁獲量は、台風の影響により低調であった。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	37,125	743		↘↘
	釣り	6	サワラ	265	44	特大主体	↗↗
	延縄	70	サワラ	2,923	42		→
		47	あまだい類	648	14		→
	底びき網	13	ハモ	817	63	中主体	↘
		13	えそ類	550	42		↘↘
		12	クマエビ	478	40		→
		12	かます類	460	38		↗
		13	いとより類	301	23		↘
	建網	32	カワハギ	245	8	大主体	↘↘
	小型定置網	11	マアジ	655	60	豆あじ級主体	↘↘
		11	マルアジ	476	43	小主体	↘↘
		12	カンパチ	429	36		↗
		8	アイゴ	386	48		↗↗
		11	マダイ	246	22	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘